



[2017年9月22日]

鉄建建設株式会社 経営戦略室 広報部

東京都千代田区三崎町 2-5-3 〒101-8366

TEL 03-3221-2297 FAX 03-3221-2379

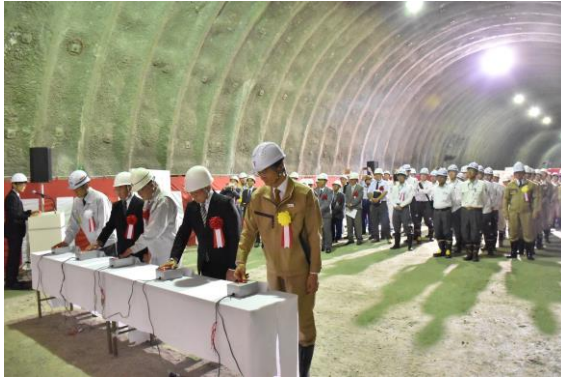
東北中央自動車道にしごうトンネルが貫通

～9月15日、貫通式典を開催～

■鉄建建設株式会社東北支店（支店：宮城県仙台市、支店長：谷口和善）では、山形県上山市にて東北中央自動車道のにしごうトンネル工事（南陽高畠 IC～上山 IC(仮称)間）を進めています。9月15日、発注者である東日本高速道路株式会社東北支社 坂巻広治 山形工事事務所長、および近桝伸二 上山市建設課長、坪倉盛夫 中山地区会長、加藤統太 西郷地区建設促進対策協議会長ほか約100名の方々を招待し、貫通式を執り行いました。式典では、暗幕を張られた貫通点手前にて関係者代表5名の方々による貫通発破が行われ、合図とともにスイッチが押されると発破音が鳴り響き、無事貫通したことを祝いました。

■本工事は、にしごうトンネル（L=1,361m）と同トンネルから約1km離れている中山トンネル（L=199m）の2本のトンネルを構築しています。また2本のトンネルの間には約26万㎡の長大切土、軟弱地盤における高盛土、カルバートボックス5基など多種多様な工事があります。豪雪地帯の当地では、降雪期はこれらのトンネル工事以外の明かり工事を施工できないため、工程調整に苦慮しました。にしごうトンネルは、2015年9月に掘削を開始。その後、中山トンネルの掘削を先に終えるため、降雪期を含めた約5カ月間掘削を中止し、2016年3月に中山トンネル貫通後、掘削を再開し、今回の貫通となりました。掘削工法は、NATM機械掘削工法を採用していますが、当工区の地質は珪化作用が進んで緻密な凝灰岩であり、岩盤掘削に時間を要したため、火薬による発破を併用しました。須志田藤雄所長は、「工区内の2本のトンネルは亀裂の無い凝灰岩に阻まれ、思うように掘削ができませんでした。さまざまな試験施工を行いながら爆薬を併用した方法を採用し、無事貫通式を迎えることができました。今後はさらに気を引き締めて、安全や品質に十分注意し、しゅん功に向けて工事を進めていきたい。」と話していました。

■東北中央自動車道は、福島市と秋田県横手市を米沢市・山形市・新庄市を經由して結び、常磐自動車道、東北縦貫自動車道、山形自動車道、秋田自動車道と接続することから、内陸部の移動時間短縮や地域間の交流、災害などの緊急時における東北自動車道の迂回路といった目的のもと、整備がすすめられています。にしごうトンネルを含む南陽高畠 IC～上山 IC(仮称)間は2018年度開通を目指し工事が進められています。



貫通発破の点火



貫通点にて通り初めの儀



シャンパンセレモニー



集合写真

以上